

## 第3章 施設整備基本計画

### 第1節 全体計画

#### 1-1 施設整備の区域

新最終処分場等の施設整備に関し、「施設整備構想」では、整備方針として、施設整備の基本目標である「安全・安心」及び「地域や自然との調和」を踏まえ、周辺環境に影響を与えない処分場を造ることを基本的な考え方とする中、具体の方針として、造成による地形などの改変を出来る限り抑え、植生や水系等の自然環境要素との連携を図ることによって地域生態系への負荷の軽減を図ると共に、周辺景観との融和を図ることとしている。

また、これを踏まえ、整備施設として、新最終処分場等と共に景観保全や市民の憩いの場とするための自然公園等の附帯施設を整備することとしている。

これらのことに基づき、建設地での施設整備にあたっては、谷部に長い平地を有する地形の特性を考慮した上で、環境保全や区域の雨水排水等防災安全対策に配慮し、緩衝緑地帯の設置や残地森林の確保などにより、森林の持つ多面的機能を活かした計画施設の総合的な整備を図るため、尾根づたいに囲まれる流域（表流水集水域）を一団の区域と捉え、この範囲を当該施設整備の区域（面積：約35ha）とする。

なお、施設整備の区域を図3-1-1及び図3-1-2に示す。

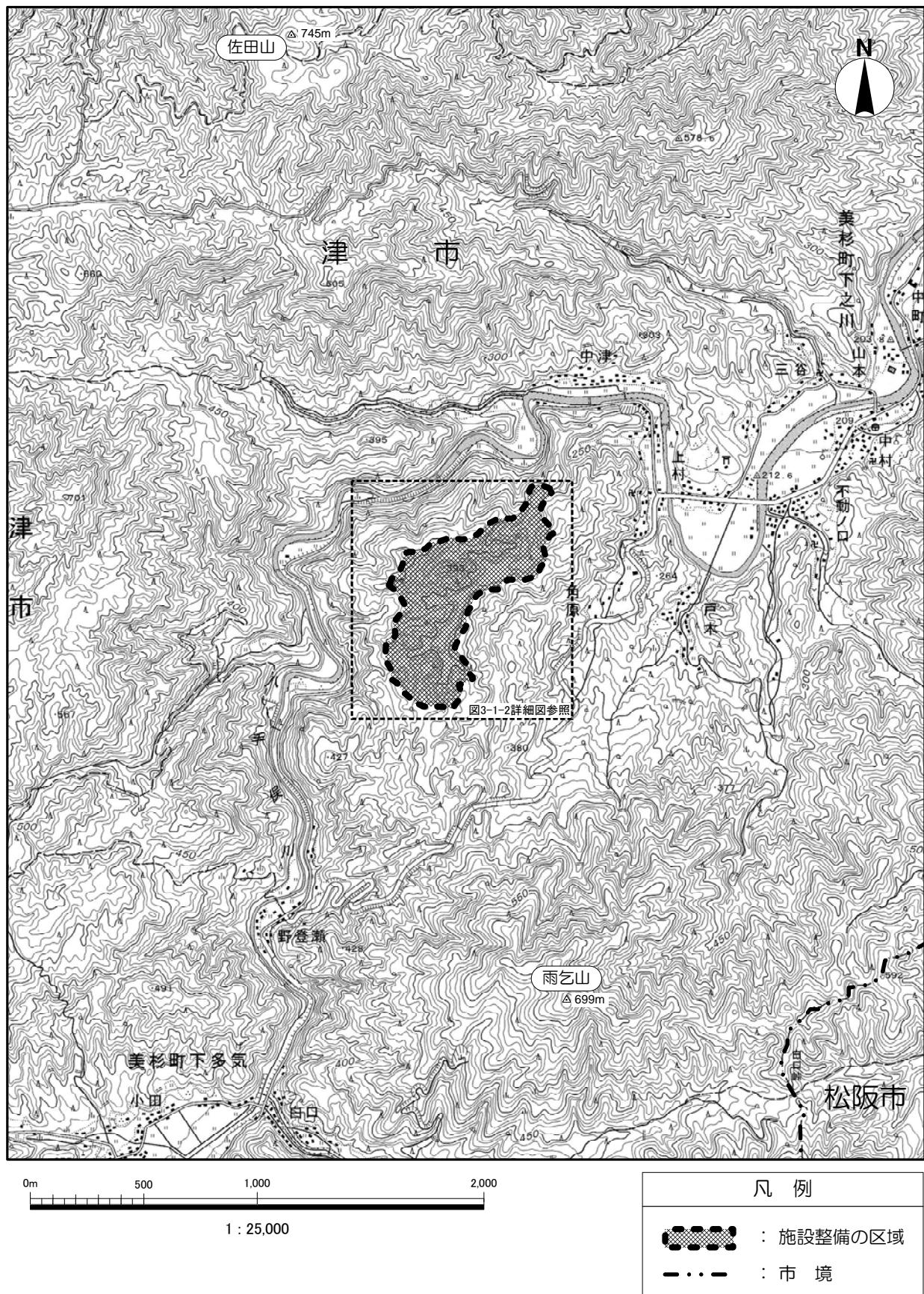


図 3-1-1 施設整備の区域

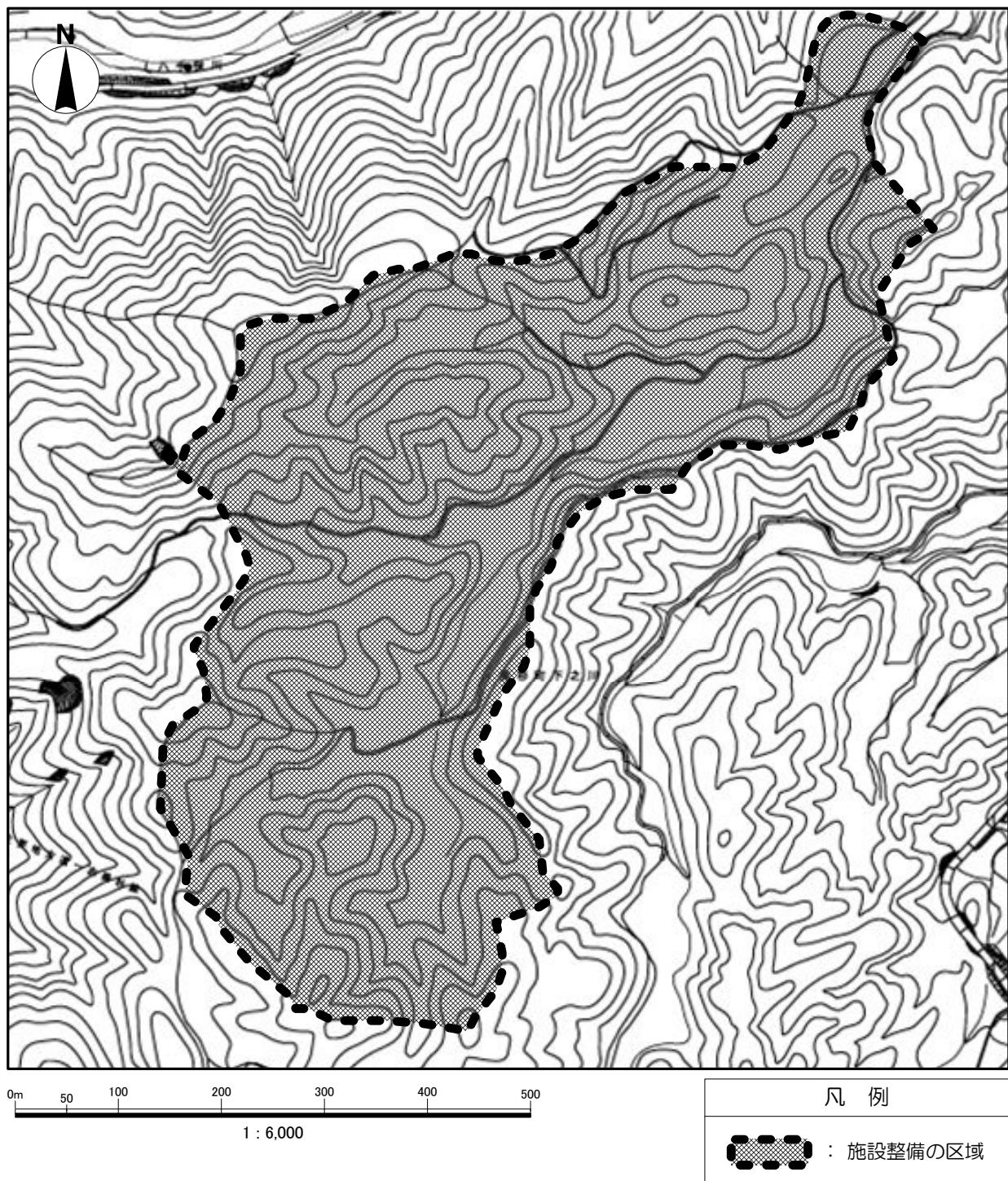


図 3-1-2 施設整備の区域（拡大）

## 1-2 現地踏査結果

次頁から建設地の現地踏査結果として写真帳を添付する。

また、図3-1-3に撮影地点位置図を示す。

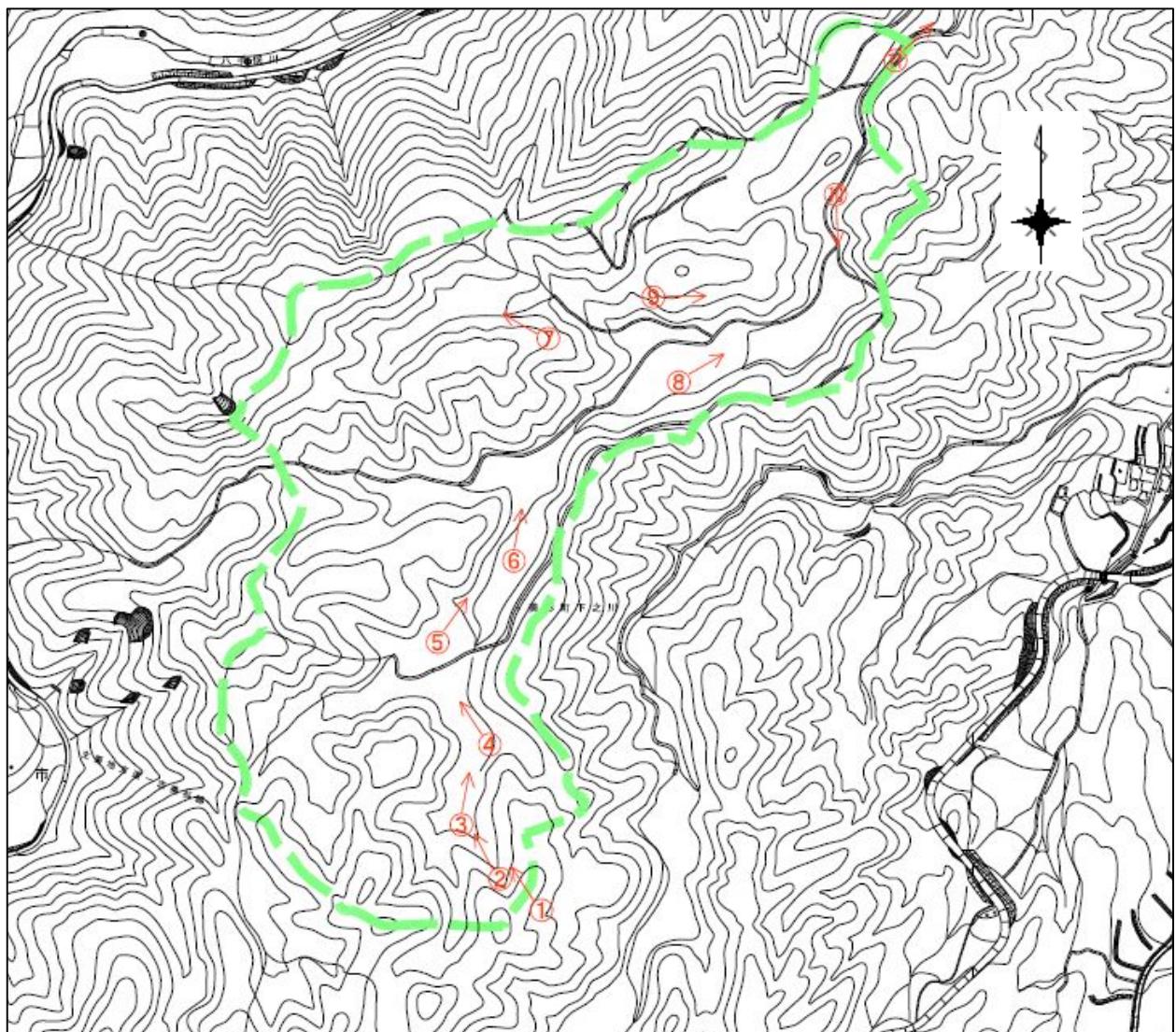


図3-1-3 撮影地点位置図

	種別 現地踏査 地点 津市美杉町下之川 内容 ①南側 備考
	種別 現地踏査 地点 津市美杉町下之川 内容 ②南側 備考
	種別 現地踏査 地点 津市美杉町下之川 内容 ③南側 備考

	種別	現地踏査
	地点	津市美杉町下之川
	内容	④南側
	備考	
	種別	現地踏査
	地点	津市美杉町下之川
	内容	⑤南側
	備考	
	種別	現地踏査
	地点	津市美杉町下之川
	内容	⑥中心部
	備考	

	<table border="1"><tr><td>種別</td><td>現地踏査</td></tr><tr><td>地点</td><td>津市美杉町下之川</td></tr><tr><td>内容</td><td>⑧中心部</td></tr><tr><td>備考</td><td></td></tr></table>	種別	現地踏査	地点	津市美杉町下之川	内容	⑧中心部	備考	
種別	現地踏査								
地点	津市美杉町下之川								
内容	⑧中心部								
備考									
	<table border="1"><tr><td>種別</td><td>現地踏査</td></tr><tr><td>地点</td><td>津市美杉町下之川</td></tr><tr><td>内容</td><td>⑨中心部</td></tr><tr><td>備考</td><td></td></tr></table>	種別	現地踏査	地点	津市美杉町下之川	内容	⑨中心部	備考	
種別	現地踏査								
地点	津市美杉町下之川								
内容	⑨中心部								
備考									



種別	現地踏査
地点	津市美杉町下之川
内容	⑩北側
備考	



種別	現地踏査
地点	津市美杉町下之川
内容	⑪北側
備考	

### 1-3 造成計画

#### 1) 搬入道路計画

施設への搬入道路は、建設地に隣接している市道多気下之川線からのアクセスが最も適していることから、以下の条件により計画する。

- ・市道多気下之川線から計画地までの路線長が極力短くなるルート
- ・市道多気下之川線との接続位置は、交差点部やカーブ位置を極力避けた位置
- ・切土、盛土が極力少なくなるルート（計画地に平行して南北にある谷部は除く）

また、計画は、三重県の「宅地等開発事業に関する技術マニュアル 道路」に準拠する。本計画の諸元を以下に示す。

延長 L=575m

幅員 W=9.0m

道路勾配 i=2.3%

暗渠工 3.0m×3.0m L=76m、112m

#### 2) 造成計画

造成平場は、計画地において平坦谷部が比較的多く存在し、市道多気下之川線からの取付搬入道路計画が比較的容易な南側に設置することとする。

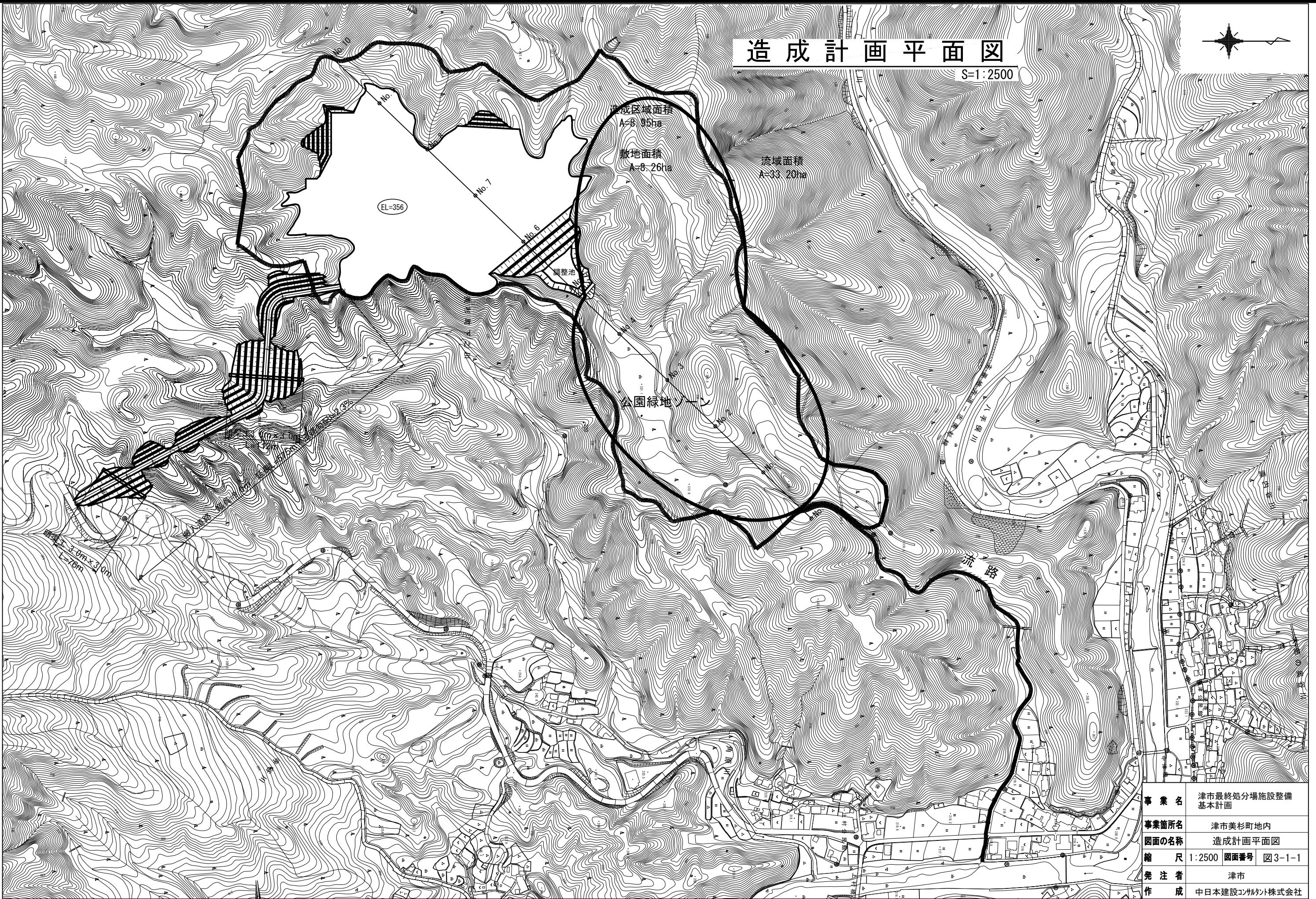
また、造成形状は、施設や車両通行、敷地周辺の緩衝緑地帯等に必要な平場の大きさや造成のための構造物を極力設置しないこと等を念頭に計画する。

造成計画平面・縦断・横断図、道路縦断・横断図を次ページ以降に示す。

造成工事：切土約 31 万 m<sup>3</sup>、盛土約 44 万 m<sup>3</sup>

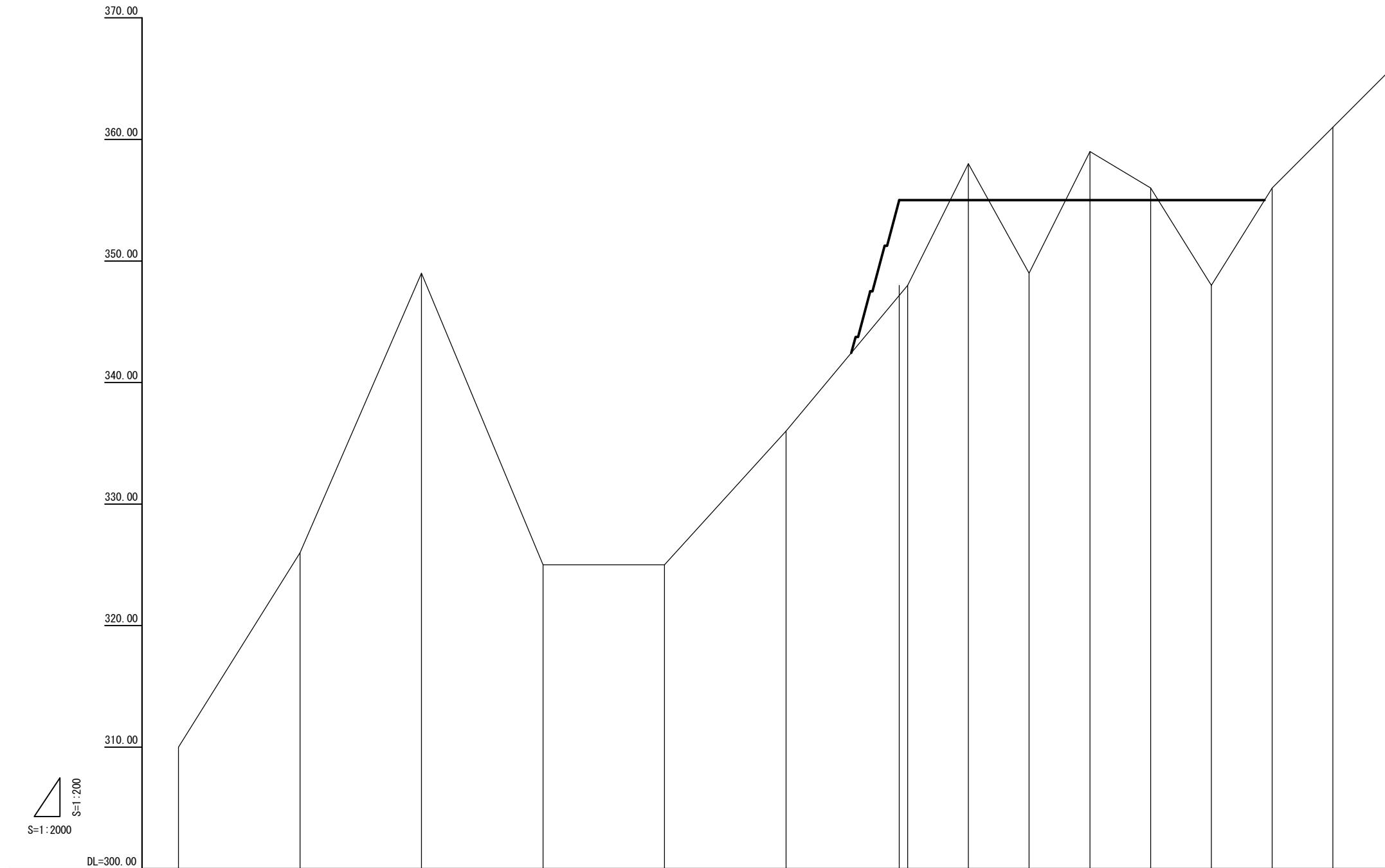
搬入道路工事：切土約 5.3 万 m<sup>3</sup>、盛土約 11.9 万 m<sup>3</sup>

土量バランスは、盛土用土砂が約 19.6 万 m<sup>3</sup> 必要となる。



## 縦断図

VS=1:200, HS=1:2000



縦断勾配線		
計画高		
地盤高	310.00	
切土高	326.00	
盛土高	349.00	
追加距離	0.00	
単距離	100.00	
測点番号	No.1 No.2 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7 No.8 No.9 No.10	100.00 200.00 100.00 300.00 100.00 400.00 100.00 500.00 -93.16 93.16 693.16 7.00 No.6 100.00 600.00 100.00 700.00 6.00 100.00 800.00 100.00 900.00 100.00 1000.00
平面線形曲率図		

事業名	津市最終処分場施設整備基本計画
事業箇所名	津市美杉町地内
図面の名称	縦断図
縮尺	V=1:200 H=1:2000
発注者	津市
作成	中日本建設コンサルタント株式会社

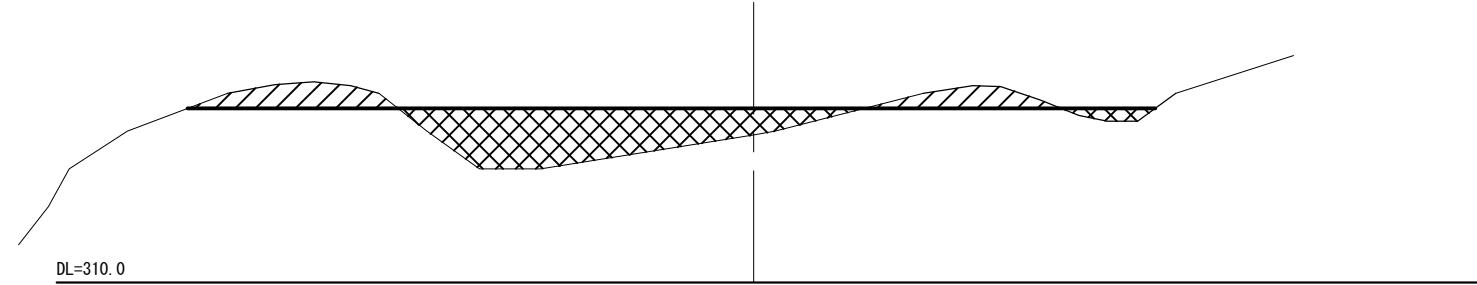
## 横断図 (1) S=1:2000

No. 7

GH=349.0

FH=346.0

切 土	m <sup>3</sup>	454
盛 土	m <sup>3</sup>	1249

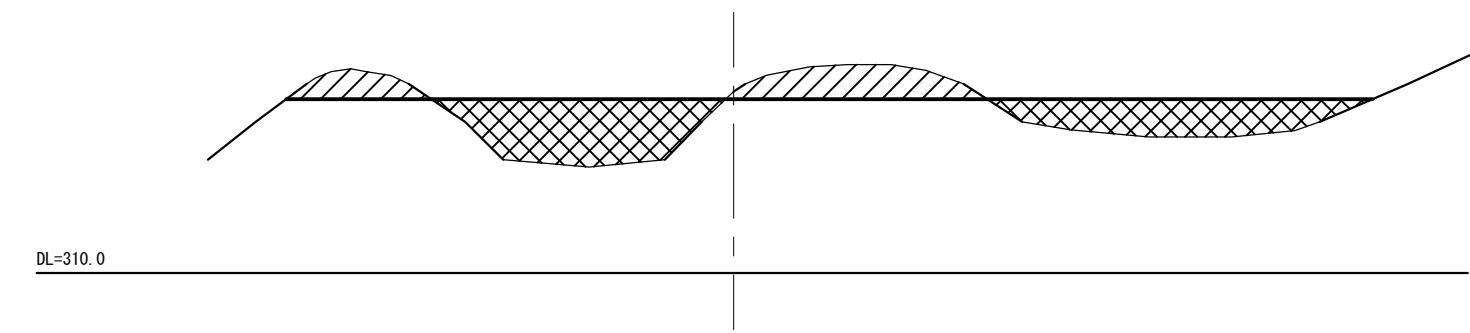


No. 6+50

GH=358.0

FH=346.0

切 土	m <sup>3</sup>	664
盛 土	m <sup>3</sup>	1757

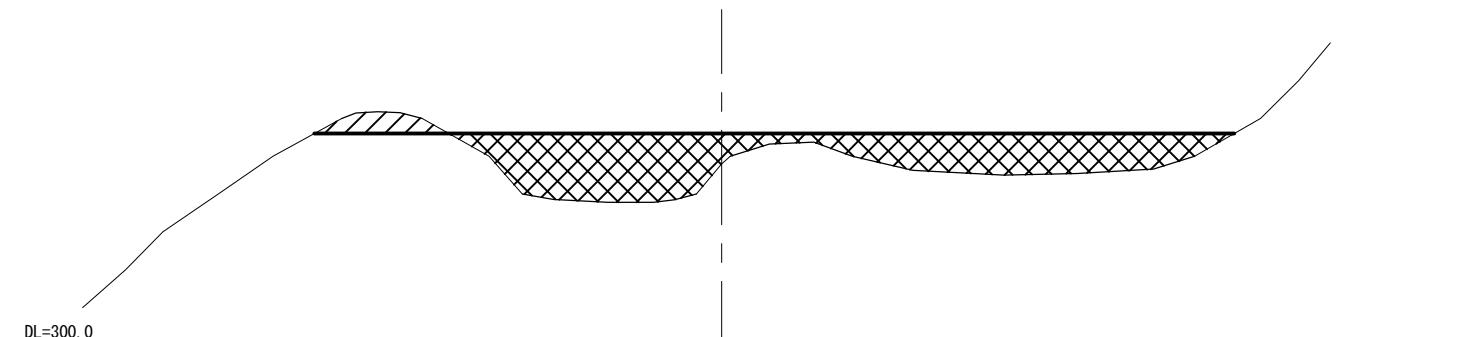


No. 6

GH=348.0

FH=346.0

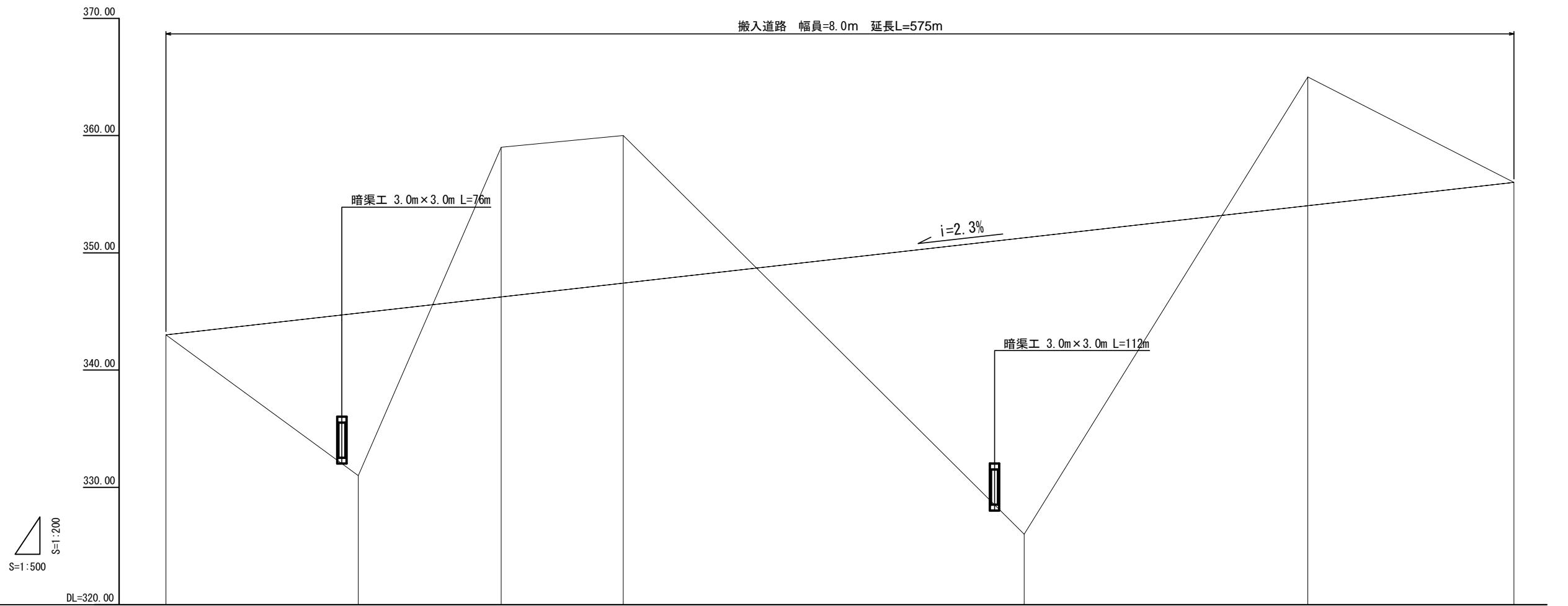
切 土	m <sup>3</sup>	140
盛 土	m <sup>3</sup>	2051



事業名	津市最終処分場施設整備 基本計画	
事業箇所名	津市美杉町地内	
図面の名称	横断図(1)	
縮尺	1:2000 図面番号 図3-1-3	
発注者	津市	
作成	中日本建設コンサルタント株式会社	

## 道路縦断図

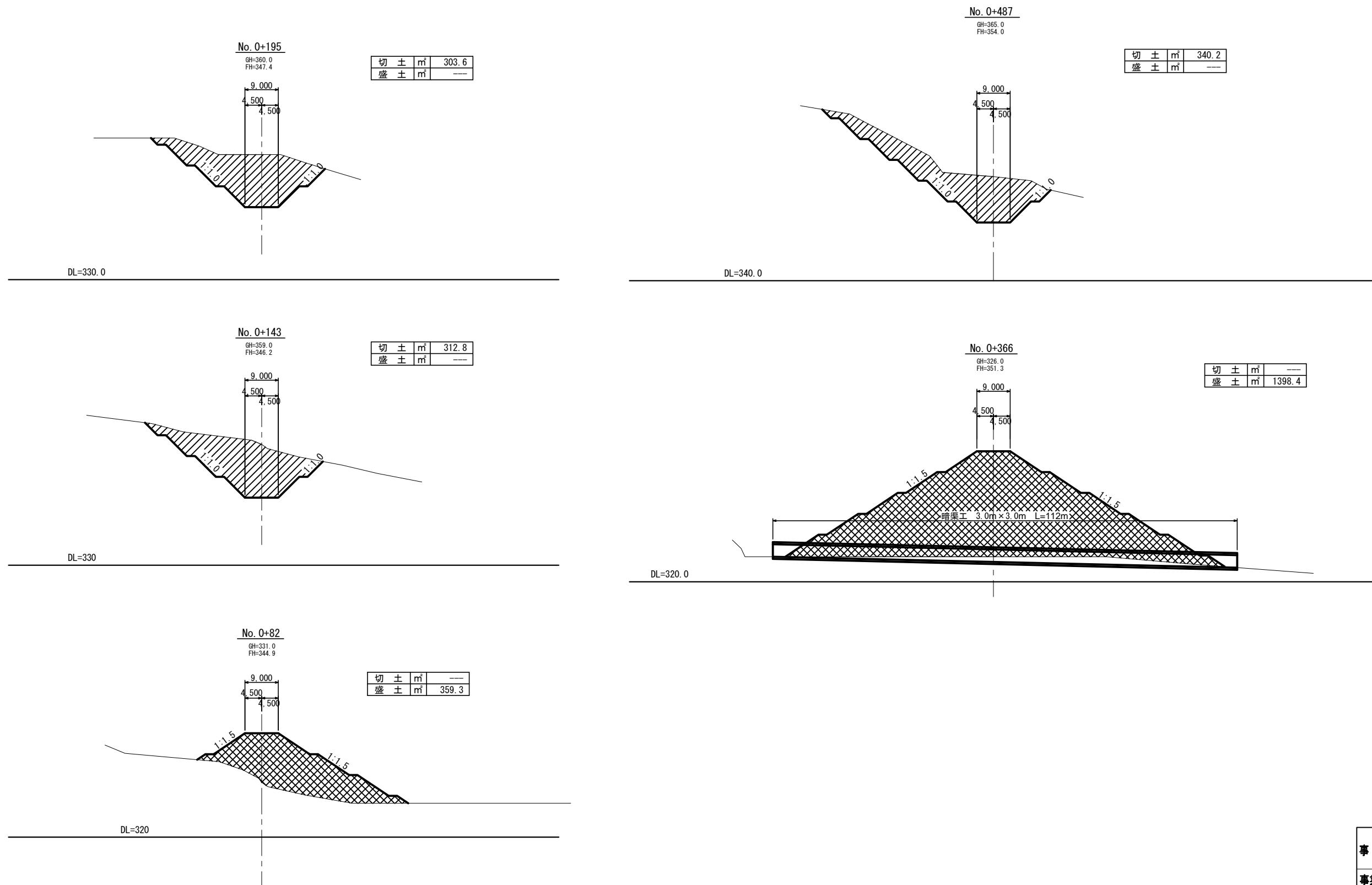
VS=1:200, HS=1:500



縦断勾配線	343.00	
計画高	343.00	343.00
地盤高	343.00	331.00
切土高		12.77
盛土高		13.85
追加距離	0.00	82.00
単距離	0.00	61.00
測点番号	No. 0+82	No. 0+143
平面線形曲率図		

事業名	津市最終処分場施設整備 基本計画	
事業箇所名	津市美杉町地内	
図面の名称	道路縦断図	
縮尺	V=1:200 H=1:500	図面番号 図3-1-4
発注者	津市	
作成	中日本建設コンサルタント株式会社	

## 道路横断図 S=1:500



事業名	津市最終処分場施設整備 基本計画	
事業箇所名	津市美杉町地内	
図面の名称	道路横断図	
縮尺	1:500	図面番号 図3-1-5
発注者	津市	
作成	中日本建設コンサルタント株式会社	

## 1－4 防災計画

### 1) 防災調整池

計画地を開発するに際して、防災調整池の検討を行う。調整池の検討は「三重県宅地開発事業に関する技術マニュアル 平成20年度版」に従い、計算条件は「林地開発許可事務の手引き」に準拠する。

防災調整池の諸元を以下に示す。(計算の詳細は資料編を参照。)

調整池流域面積	19.61ha
造成区域面積	8.95ha
自然区域面積	10.66ha
流出係数	0.79
許容放流量*	4.334m <sup>3</sup> /sec
調整池容量(沈砂池容量含む)	10,058m <sup>3</sup> (4,151m <sup>3</sup> +5,907m <sup>3</sup> )

\*許容放流量は県の砂防工事計画書(詳細は資料編参照)に基づく下流域整備が行われたと仮定。(未整備水路部)

### 2) 切土・盛土法面

切土・盛土法面勾配は「三重県宅地開発事業に関する技術マニュアル 平成20年度版 切土及び盛土」に準拠し、設定する。

本計画においては、切土 H≤5.0m の法高で、45度(約1:1.0)以下(まさ土、硬質粘土等)、盛土 H≤5.0m の法高で、30度(約1:1.8)以下と設定した。